

第3四半期概況

経営成績

	当第3四半期 累計	増減	前年同期比 (%)
営業収入	11,074	△ 341	97.0
営業費用	10,670	195	101.9
営業利益	403	△ 536	42.9
営業外損益	△ 175	△ 23	—
経常利益	227	△ 560	28.9
特別損益	△ 32	△ 1,151	—
四半期純利益	94	△ 1,085	8.0

主力の航空運送事業の概要は以下のとおりです。

国内線旅客事業:各種販売施策により増収に努めましたが需要に見合うよう、提供座席数を絞ったこともあり、旅客数、収入ともに前年同期を下回りました。

国際線旅客事業:世界規模での急速な景気後退の影響でビジネス需要、観光需要ともに大きく減少し、旅客数、収入ともに前年同期を下回りました。

貨物事業:国際貨物は生産規模を拡大して輸送量を伸ばし増収となりましたが、11月以降需要は急速に落ち込んでいます。国内貨物は「ゆうパック」が貨物扱いとなったこと等により増収となったものの11月後半より需要は伸び悩みました。

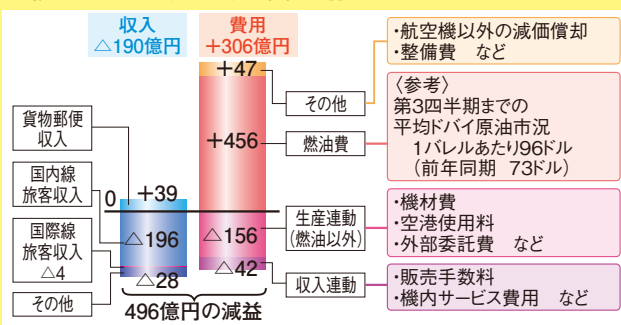
以上により航空運送事業全体では前年同期比190億円減収となりました。

一方、費用は国内線を中心に生産量を抑制して生産連動費用は低下したものの、燃油費が大幅に増加したことにより前年同期306億円の費用増となりました。

旅行事業、その他の事業も減益となったことから、当第3四半期の連結経営成績は営業利益が403億円、経常利益が227億円、四半期純利益は94億円となりました。

当期(2009年3月期)の通期業績見通しを4ページのとおり変更いたしました。(2009年1月30日現在)

■航空運送事業 収入・費用増減要因 (前年同期比)(単位:億円)



連結損益計算書			(単位:億円)
	前第3四半期 (2007年4月1日から 2007年12月31日まで)	当第3四半期 (2008年4月1日から 2008年12月31日まで)	
営業収入	11,415	11,074	
営業費用	10,475	10,670	
営業利益	939	403	
営業外収益	82	93	
営業外費用	234	269	
経常利益	787	227	
特別利益	1,378	10	
特別損失	260	43	
税金等調整前四半期純利益	1,906	194	
税金費用	718	101	
少数株主損益	7	△ 0	
四半期純利益	1,179	94	

連結キャッシュ・フロー (単位:億円)

	前第3四半期 (2007年4月1日から 2007年12月31日まで)	当第3四半期 (2008年4月1日から 2008年12月31日まで)
1. 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,415	△ 14
2. 投資活動によるキャッシュ・フロー	1,007	△ 882
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,047	568
4. 現金及び現金同等物の換算差額	△ 3	△ 2
5. 現金及び現金同等物増減額	1,371	△ 330
6. 現金及び現金同等物の四半期末残高	3,093	1,468

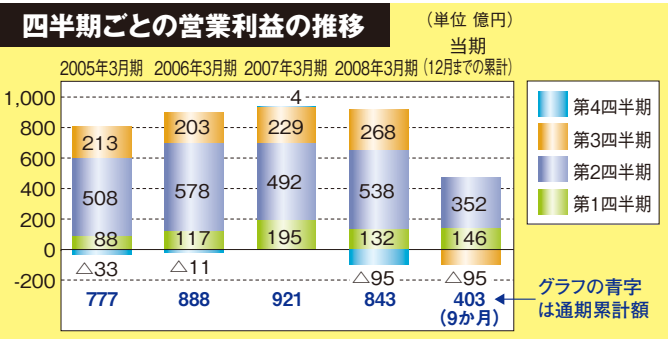
連結貸借対照表			(単位:億円)		
	前期末 (2008年3月31日現在)	当第3四半期 (2008年12月31日現在)		前期末 (2008年3月31日現在)	当第3四半期 (2008年12月31日現在)
〈資産の部〉			〈負債の部〉		
流動資産	4,734	4,826	流動負債	5,469	5,197
固定資産	13,097	13,046	固定負債	7,804	9,423
繰延資産	1	1	負債合計	13,274	14,621
			〈純資産の部〉		
			株主資本	4,226	4,214
			資本金	1,600	1,600
			資本剰余金	1,257	1,257
			利益剰余金	1,378	1,375
			自己株式	△ 9	△ 17
			評価・換算差額等	303	△ 1,002
			少数株主持分	29	41
			純資産合計	4,559	3,253
資産合計	17,833	17,875	負債純資産合計	17,833	17,875

航空運送事業の売上高			(単位 億円)		
区 分		事業年度	前第3四半期 (2007年4月1日から 2007年12月31日まで)	当第3四半期 (2008年4月1日から 2008年12月31日まで)	増減
航空運送事業	国内線	旅 客 収 入	5,690	5,494	△ 196
		貨 物 収 入	233	255	22
		郵 便 収 入	61	30	△ 31
		手 荷 物 収 入	2	2	0
		小 計	5,987	5,782	△ 204
	国際線	旅 客 収 入	2,397	2,393	△ 4
		貨 物 収 入	539	592	52
		郵 便 収 入	32	28	△ 4
		手 荷 物 収 入	3	4	0
		小 計	2,973	3,017	43
航空事業収入合計		8,961	8,800	△ 160	
そ の 他 の 収 入		1,011	981	△ 29	
小 計		9,972	9,782	△ 190	

(注)各収入は事業区分(セグメント)間の売上高を含んでおります。

輸送実績					
区 分		事業年度	前第3四半期 (2007年4月1日から 2007年12月31日まで)	当第3四半期 (2008年4月1日から 2008年12月31日まで)	前年同期比 (%)
国内線	旅 客 数 (万 人)		3,478	3,322	95.5
	座 席 キ 口 (億席キロ)*1		473	452	95.5
	旅 客 キ 口 (億人キロ)*2		304	291	95.9
	利 用 率 (%) *3		64.2	64.4	0.2
	貨物輸送重量 (千 トン)		352	366	104.0
	貨 物 輸 送 量 (百万トンキロ)		338	356	105.4
	郵便輸送重量 (千 トン)		69	29	42.4
	郵便輸送量 (百万トンキロ)		71	28	39.6
国際線	旅 客 数 (万 人)		363	340	93.5
	座 席 キ 口 (億席キロ)*1		212	212	100.1
	旅 客 キ 口 (億人キロ)*2		160	149	93.2
	利 用 率 (%) *3		75.8	70.5	△ 5.3
	貨物輸送重量 (千 トン)		249	285	114.5
	貨 物 輸 送 量 (百万トンキロ)		1,218	1,323	108.6
	郵便輸送重量 (千 トン)		11	13	121.6
	郵便輸送量 (百万トンキロ)		55	73	131.6

(注) *1.座席キロ:(座席数)×(運航キロメートル) *2.旅客キロ:(旅客数)×(運航キロメートル) *3.利用率:(旅客キロ)÷(座席キロ) 4.国内線実績にはIBEXエアラインズ(株)、北海道国際航空(株)、スカイネットアジア航空(株)および(株)スターフライヤーとのコードシェア便実績(当社販売分)を含みます。 5.国際線実績にはユナイテッド航空(関西～ホノルル線:2007年9月30日をもって運航休止)およびエバー航空とのコードシェア便実績(当社販売分)を含みます。 6.国際線貨物および国際線郵便実績にはABX Air社委託運航便実績を含みます。 7.国内線深夜貨物定期便実績を含みます。 8.国内線、国際線ともにチャーター便実績を除きます。 9.国際線の貨物輸送重量と貨物輸送量の計上基準を当期より一部変更しています。なお、新基準により集計した場合の前年同期の貨物輸送重量は269千トン、貨物輸送量は1,244百万トンキロとなります。



セグメント情報 (単位:億円)					
	航空運送事業	旅行事業	その他の事業	消去	合計
事業別営業収入	9,782	1,480	1,130	△ 1,319	11,074
事業別営業利益	376	3	23	△ 0	403

2009年3月期業績見通し 2008年4月1日～2009年3月31日

米国金融不安に端を発した世界同時不況は航空需要にも深刻な影響を与えており、今後一層厳しい需要動向となることが予想されます。このため、営業収入は昨年10月31日に修正した予想をさらに下回る見通しに立たざるを得ない状況となり、当期の通期連結業績見通しを本年1月30日付けで以下のとおり再度修正させていただきました。

期末配当金につきましても3円を予定しておりましたが、今後の航空需要動向を見極める必要があると判断し、現時点では「未定」とさせていただきます。

連結業績見通し (単位:億円)			
	2009年3月期 (2008年10月31日発表時点)	2009年3月期 (2009年1月30日発表時点)	増減額
営業収入	14,600	14,000	△ 600
営業利益	550	80	△ 470
経常利益	290	△ 100	△ 390
当期純利益	170	△ 90	△ 260
1株あたりの配当金(円)	3	未定	—

連結業績予想の前提		
2009年3月期	国内線	国際線
提供座席キロ	前年比 94.2%	99.4%
旅客キロ	前年比 94.5%	89.7%

※上記の予想は本報告書作成時点(1月30日)において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に掛かる本報告書作成時点における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。